

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																										
松本理容美容専門学校		11/12/1980		小原一正		〒 399-0001 (住所 長野県松本市宮田11-7 (電話 0263-26-2195)																																										
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																										
学校法人長野県理容美容学園		3/8/1984		長尾明靖		〒 399-0001 (住所 長野県松本市宮田11-7 (電話 0263-28-4272)																																										
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																																											
衛生	衛生専門課程	美容科		平成17年文部科学省 認定第177号	「-」																																											
学科の目的 企業との連携体制をもって美容に関する知識、技術、技能を教授し、専門的な能力と教養の向上を図ることを目的とする																																																
認定年月日 8/18/2018																																																
修業年限		昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																																								
2年		昼間	2040	690	「-」	1350	「-」	「-」																																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数 (生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																										
240人		210人	1人	8人	9人	17人																																										
学期制度	■1 学期：4月1日～7月31日 ■2 学期：8月1日～12月31日 ■3 学期：1月1日～3月31日			成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準：5段階評価(相対評価) 評価の方法：学期末試験、学習状況を勘案																																											
長期休み	■学年始：4月8日 ■夏季：7月23日～8月17日 ■冬季：12月24日～1月5日 ■学年末：3月9日～3月31日			卒業・進級条件	卒業要件： 学業成績と出席状況、学習状況を卒業認定会議を設けて 進級要件： 学業成績と出席状況、学習状況を進級会議を設けて判断する。																																											
学修支援等	■クラス担任制：有 ■個別相談・指導等の対応 ・個別担任指導・保護者面談・校長特別指導・スクールカウンセラーによる個別相談			課外活動	■課外活動の種類 (例) 学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ・実務実習・校外清掃ボランティア・福祉授業ボランティア ・技術大会への参加																																											
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 美容室、美容メーカー、ネイルサロン、マツエクサロン ■就職指導内容 ・担任指導・就職支援担当者による個別指導・校内就職ガイダンス(年間2回)・各サロンによる説明会・説明会、面接時におけるリモート対応 ■卒業生数 119 人 ■就職希望者数 118 人 ■就職者数 118 人 ■就職率 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 99.1 % ■その他 ・進学者数：0人 (令和 3 年度卒業生に関する令和4年5月1日時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業生に関する令和5年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>97名</td> <td>90名</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>98名</td> <td>86名</td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル検定</td> <td>③</td> <td>23名</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>メイク検定3級</td> <td>③</td> <td>69名</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>メイク検定2級</td> <td>③</td> <td>69名</td> <td>68名</td> </tr> <tr> <td>准福祉理美容士</td> <td>③</td> <td>99名</td> <td>99名</td> </tr> <tr> <td>ネイル検定</td> <td>③</td> <td>87名</td> <td>83名</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラー</td> <td>③</td> <td>74名</td> <td>74名</td> </tr> <tr> <td>ヘアカラー検定</td> <td>③</td> <td>95名</td> <td>95名</td> </tr> </tbody> </table> ■自由記述欄 (例) 認定学科の学生・卒業生のコンテスト受賞等 令和5年度理容美容甲子園信越北陸地区大会 ・理容ワインディング優秀賞1名 ・理容クラシカルバックパリエーション敢闘賞2名 ・ヘアデッサン画優勝賞4名、敢闘賞1名 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	97名	90名	サービス接遇検定	③	98名	86名	ジェルネイル検定	③	23名	21名	メイク検定3級	③	69名	68名	メイク検定2級	③	69名	68名	准福祉理美容士	③	99名	99名	ネイル検定	③	87名	83名	パーソナルカラー	③	74名	74名	ヘアカラー検定	③	95名	95名
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																																													
美容師国家試験	②	97名	90名																																													
サービス接遇検定	③	98名	86名																																													
ジェルネイル検定	③	23名	21名																																													
メイク検定3級	③	69名	68名																																													
メイク検定2級	③	69名	68名																																													
准福祉理美容士	③	99名	99名																																													
ネイル検定	③	87名	83名																																													
パーソナルカラー	③	74名	74名																																													
ヘアカラー検定	③	95名	95名																																													
中途退学の現状	■中途退学者 0 名 令和4年4月1日時点において、在学者 228 名(令和3年4月1日入学生含む) 令和5年3月31日時点において、在学者 225 名(令和5年3月31日卒業生含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 ・担任指導・保護者面談・校長特別指導・スクールカウンセラーによる個別相談・放課後補習授業			■中退率 0 %																																												
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度：有 ※有の場合、制度内容を記入 ・修学支援制度(特待生制度、指定校推薦制度)・無利子貸与事業(経済的理由により、著しく修学困難な者に学費を貸与する) ■専門実践教育訓練給付：給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																															

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容業に必要な実践的、専門的な能力を育成することを目的として、関係する業界団体、知見有る企業などの意見を活用し、教育課程の改善、工夫を行う

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

国家試験資格取得を目的とした内容が中心になりがちなカリキュラムに業界が求める技術、人材等職業人教育を取り入れ、実践的かつ専門的な能力を育成するための意見、助言を行う

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
福盛 二郎	イーキュア株式会社 代表 (人材育成関連業)	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	①
石田 晃教	ニコヘアデザイン (店舗オーナー、卒業生)	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	③
小原 一正	松本理容美容専門学校 校長	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
小口 忍	松本理容美容専門学校 教務主任	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
平林 身江子	松本理容美容専門学校 美容科教員	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

原則年2回以上開催

(開催日時)

第1回 令和5年8月22日 10:30～12:30

第2回 令和6年3月11日 10:30～12:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

基本技術に加え、最先端の技術や接客、コミュニケーションが必要不可欠になっている。現場で活躍する講師を招聘し、組み立てるカリキュラム、シラバスについて、細部に渡り助言を受けている

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基本技術の習得に加え、より実践的な技術等の習得を図り、さらに即戦力としてサロン業務に必要な知識、技術、人格等の能力を培うことを基本方針とする

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

課目において、事前打ち合わせとして、企業等で必要とされる授業、指導内容を検討し、授業に取り入れ、次回に向けて担当教員との確認、研修を行い、学修成果の評価も合わせて行う

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
-----	------	-------

メイク	基礎技術から、実践で活かせるメイクパターンの習得する	株式会社アリミノ
ネイル	基礎技術から、3Dアート、ジェルネイルまでの技術習得を行う	滝川株式会社
コミュニケーション	マナーの基礎から、実践的な接客技術の習得と「サービス接客検定」試験対策を行う	株式会社 コミュニケーションズ・アイ
ヘアデザイン (ヘアカット)	基礎的技術から、サロンスタイルまでのカットパターンを習得する	有限会社 大和インターナショナル
ヘアデザイン (ヘアカラー)	基礎技術から、ヘアカラー技法のバリエーションを習得する	有限会社 ターバン

(別途、以下の資料を提出)

* 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

美容業界について専門的知見を有する企業による知識、技術、技能の研修。更に授業、学生に対する指導力を習得、向上するための研修を教員ごとに計画し、実施することで美容業界で即戦力となる人事育成に反映させる

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

カット、カラー、メイク、ネイル、コミュニケーションにおいて企業による招聘した講師による、打ち合せ、実施する最新技術を担当教員を主とした研修を実施している

② 指導力の修得・向上のための研修等

接客、接客、就職活動などにおけるコミュニケーション能力を現場に活かす研修を実施している

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

カット、カラー、メイク、ネイル、コミュニケーションにおいて各講師の授業内容に合わせた、各技術を習得する研修を行っている

② 指導力の修得・向上のための研修等

キャリアサポート研修参加

(別途、以下の資料を提出)

* 研修等に係る諸規程

* 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)

* 研修等の計画(推薦年度における計画)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者委員会からの提言を踏まえ、学校運営や教育活動等ガイドラインの各評価項目について、改善することで、学校の質の向上を図ることを基本方針とする

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
-------------	-------------

(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会から、経済的困窮者の学生支援について、業界からの支援も含め、協力体制ができるか、検討された。ネイル特殊技術等、学校で取り組む技術を業界に周知してもらい、校外実習などで学生が実施体験できる機会としていく

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年8月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
竹松 正弘	(株)アーク 代表	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	企業等委員 卒業生
五味 博雄	今井物産株式会社 社長	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	企業等委員
小原 一正	松本理容美容専門学校 校長	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
小口 忍	松本理容美容専門学校 教務主任	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
吉川 佐恵子	学校法人長野県理容美容学園 事務局長	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	
桐山 美奈	学校法人長野県理容美容学園 広報企画部長	令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年)	

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・公表時期 年間2回～3回)

<http://www.nrbg.ac.jp>

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

業界、関連企業等と連携して学校運営を行い、より良い教育環境を構築することを目的として、現状について定期的に情報提供していくことを基本とする

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	(1)学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	(2)各学科等の教育
(3)教職員	(3)教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	(4)キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	(5)様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	(6)学生の生活支援

(7) 学生納付金・修学支援	(7) 学生納付金・修学支援
(8) 学校の財務	(8) 学校の財務
(9) 学校評価	(9) 学校評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

<http://www.nrbg.ac.jp>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 令和5年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			関係法規・制度	・法制度・衛生行政・美容師法・関連法規	2年次	30		○			○	○			
○			衛生管理	・公衆衛生・環境衛生・感染症・衛生管理技術	1年2年次	90		○			○	○			
○			美容保健	・生理解剖・皮膚科学	1年2年次	90		○			○	○			
○			香粧品化学	・化学・香粧品化学	1年2年次	60		○			○	○			
○			美容文化論	・日本の美容業の歴史・ファッション文化史日本編・西洋編・礼装の種類・ファッションの造形原理	1年2年次	60		○			○	○			
○			美容技術理論	・美容技術理論・美容用具・シャンプーイング・ヘアカットイング・パーマメントウェービング・ヘアセッティング・ヘアカラーリング・エステティック・ネイル技術・メイクアップ・日本髪・着付け	1年2年次	150		○			○	○			
○			美容運営管理	・接客・経営戦略、マーケティング・健康管理	1年2年次	30		○			○	○			
○			美容実習	・シャンプーイング・ヘアカットイング・パーマメントウェービング・ヘアセッティング・ヘアカラーリング・エステティック・ネイル技術・メイクアップ(まつエク)・着付け技術	1年2年次	900		○			○	○	○		
	○		芸術	・デッサン・色彩学	1年2年次	60		○		○	○	○	○		
	○		健康運動学	・運動・健康管理・栄養管理・感染症	1年2年次	30		○		○	○	○	○		
	○		コミュニケーション学	・接客接遇・コミュニケーション・心理学	1年2年次	60		○			○	○	○	○	
	○		社会福祉	・高齢者、障害者理解・ボランティア活動	2年次	30		○		○	○	○	○	○	
	○		ネイル	・基本技術・デザイン・ジェルネイル	1年次	60		○		○	○	○	○	○	
	○		メイク	・基本技術・メイクパターン・特殊メイク	1年次	60		○		○	○	○	○	○	
	○		着付・カット(選択)	・山野流着装・PEEK-A-B00カット	1年次	60		○		○	○	○	○	○	
	○		ヘアデザイン	・ヘアカラー・サロンカット	1年2年次	90		○		○	○	○	○	○	
	○		選択実習	・メイク・ネイル・まつエク・セット・ブライダル・ヘアカラー・カット	2年次	60		○		○	○	○	○	○	
	○		総合技術	・国家試験対策授業(まつエク)	2年次	120		○		○	○	○	○	○	
合計			18 科目		2040単位時間(単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 指導内規に従って欠席日数、レポート提出状況、期末試験の結果をもとに、卒業認定会議によって卒業者を決定する。	1 学年の学期区分	3 期
履修方法： 授業への出席状況、期末試験の結果基に指導内規に従って履修とする。（欠席授業時間のレポート提出、期末試験後の補講授業、再試験を行う）	1 学期の授業期間	13 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。